

目標達成計画

作成日: 平成2年4月22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	年2回、火災を想定した防災訓練を実施しているが、事業所内職員だけで避難訓練や消火訓練、煙道体験を行っているのみで、そこに地域の意見を取り入れたり、協力体制を築くことが出来ていない。	年2回の防災訓練に地域の自治区役員にも一緒に参加をいただき、地域目線で見たい意見をいただく。その上で、緊急時の避難先や協力内容を明確にする。	11月の防災訓練に消防署の立ち会いをお願いすると共に、地域の自治区役員にも参加を依頼。(5月はコロナウイルスのため参加見合せ)実際の防災訓練の様子を見てもらい、運営推進会議と絡めて、どのような協力体制がとれるか話し合い検討する。	12ヶ月
2	49	離接の可能性の高い利用者があることで、安全を守るため施錠を行う必要がある。また、散歩等外に出ることで不穏に繋がることもあるので、そのあおりを受けて他の利用者の外出頻度も減ってしまっている。	離接に繋がる原因を探り、対応をとることで施錠を行わなくても良い環境作りを目指す。散歩に行けない方も、自由に中庭に出ることが出来るよう支援する。	外出の訴えが多い利用者に対しては、離接の可能性が高い利用者とユニットを分ける。また、自由に外出とまでは行かなくても日時を決めて職員同伴のもと外出できるように支援し、施錠時間を徐々に減らすよう努める。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。